

学校教育係 「はばたく群馬の指導プラン」の活用

使ってなっとく！「はばたく群馬の指導プラン」(算数・数学)編

<研究授業 事前検討会>



私が算数指導で難しいと感じている課題は、この2つです。  
<課題①>つまずきの状況に応じた具体的な支援  
<課題②>比較・検討の視点の決め方とその発問

(授業者)

「はばたく群馬の指導プラン」の第Ⅱ章(算数・数学)を見ながら一緒に課題の解決を図りましょう。



(研修主任)

「はばたく群馬の指導プラン」には、「なるほど、これはいいな」という「なっとく!使える!」ポイントがたくさんあります。今回は、「はばたく群馬の指導プラン」を活用して支援や発問を具体化した例を紹介します。

《本時のねらい》 単元名：広さを調べよう (第4学年)  
長方形や正方形の面積の求め方を基に、複合図形の面積の求め方を考えることができる。

<本時のねらい達成に向けて>

ここ見て なっとく!

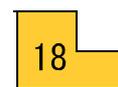
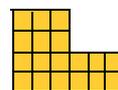
<課題①>には、P82「1単位時間の授業のつくり方」〈指導のポイント〉が使える!



「2 個別に課題を追究する」には「児童生徒の考える方法やつまずき方を予想し、それぞれに応じた支援を準備しておく」とありますね。予想されるつまずきに対して、どのような支援を考えておきますか?

このような支援を考えておこうと思います。

- マス目を数えて求めた児童には、計算で求められる図形を想起させ、既習の求積方法を基にした考えに気付けるようにする。
- 結果だけを記述している児童には、面積を求めた方法を問い掛けて、求めた手順や過程を式や言葉で表すよう助言する。

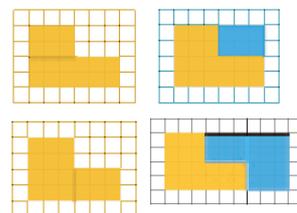


ここ見て なっとく！

<課題②>には、P85「授業充実のためのコツやアイデア」3 が使える！

「方法や考え方等の特徴を基に、どのように比較・検討するとねらいに結び付けることができるか考え」とあり、適切な視点を設定するコツと発問例がありますね。

既習の求積方法を基にして考えさせることがねらいなので、例えば、この4つに類型化して、『共通点』を視点に比較・検討させます。そのため、「どの方法にも共通した考え方はなんだろう。」と発問しようと思います。



## <言語活動の更なる充実に向けて>

学級の実態から、説明し合う活動で聞き手の理解を深める発問が工夫できるといいのですが…。

ここ見て なっとく！

P84「授業充実のためのコツやアイデア」2 が使える！

説明し合う活動の目的や具体的な発問例がありますね。

言語活動の更なる充実に向けて、「他の児童生徒の考えを読み取らせる」発問を工夫してはどうですか？

それぞれの考えを発表し全体で共有する際に、図と式を結び付ける場を設けます。

例えば、この式を取り上げて「〇〇さんの考えた式は、どのような図になるか説明してみましよう。」と発問しようと思います。

〇〇さんの式

$$2 \times 3 + 2 \times 6$$

ありがとうございます。授業が楽しみです。